

学科学年	S 1	科目分類	計算機入門 Introduction to Computer Systems	演習 必修	通年 2単位	学習教育 目標 b,d,j A,C,D	担当	大久保進也 Shinya Ohkubo
概要	今日の情報・通信技術の発展により、「情報」が時間と空間を超えて、関心を持つようになってきた。このような情報化社会のもと、制御情報工学科においては、コンピュータをツールとして利用するための学習が重要となる。そこで計算機入門の講義では、現代のコンピュータとそのソフトウェアの進展を感じさせる体験・入門演習の場とし、コンピュータを利用した情報の収集・加工・表現方法などを制御情報工学科演習室の環境を紹介しながら学習する。							
科目目標 (到達目標)	コンピュータの基本的な構成要素やその動作原理を学び、ハードウェア・ソフトウェアおよびネットワーク技術の基礎知識など、コンピュータに関して幅広く一般的な知識を身につけることを目的とする。また同時に、制御情報工学科演習室の環境に慣れるためのリテラシー教育も行う。							
教科書 器材等	適宜プリントを配布。							
評価の基準 と 方法	定期試験及び課題発表の平均成績を60%、課題レポート20%、出席状況及び授業への積極姿勢を20%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目	情報処理基礎、制御情報工学演習（コンピュータ演習）							
授業計画								
第1回	情報の概念							
第2回	情報の管理とセキュリティ（演習室におけるログイン、パスワード設定）							
第3回	制御情報工学科演習室の環境（Linuxとは？Window Makerの設定）							
第4回	情報の収集・整理（Linuxにおけるインターネット環境）							
第5回	情報の加工・表現（OpenOffice.orgにおける画像、図画作成、文書作成の紹介）							
第6回	情報の発信・交換と評価（OpenOffice.orgにおけるプレゼンテーションとHTML）							
第7回	演習問題							
第8回	定期試験							
第9回	問題解決の方法論							
第10回	コンピュータのしくみ（構成要素、動作原理、プログラムとアルゴリズム）							
第11回	情報通信ネットワーク							
第12回	情報のデジタル表現							
第13回	コンピュータを利用した問題解決							
第14回	演習問題							
第15回	定期試験							
第16回	セキュリティを守る技術							
第17回	情報伝達の多様化と社会の変化（コンピュータの歴史①）							
第18回	情報伝達の多様化と社会の変化（コンピュータの歴史②）							
第19回	情報社会の進展							
第20回	情報社会のもたらす影響と課題							
第21回	情報社会における個人の役割と責任							
第22回	演習問題							
第23回	定期試験							
第24回	プレゼンテーション法①（プレゼンテーションの基本概念）							
第25回	プレゼンテーション法②（スライド作成と操作、発表方法）							
第26回	発表会の課題について、発表原稿の作成							
第27回	発表資料の作成							
第28回	発表資料の作成							
第29回	発表会（プレゼンテーションソフトを用いた課題発表）							
第30回	予備日							
オフィス アワー	月・金曜日の午前中と火曜日の午後に、比較的質問に対応できる。水曜日、木曜日は演習、実験などで塞がっていることが多い。（教官室：専攻科棟2階）							
備考	本講義に関する質問は、メールでも受け付ける。s-ohkubo@numazu-ct.ac.jp							